

日ごろの備えが命を守る



近年、全国各地で大雨による被害が発生しています。最近の特徴として、狭い地域に極めて大量の雨が短時間に降る、いわゆる「ゲリラ豪雨」が多く発生するようになってきました。

大雨が降って災害の危険が高まった時、慌てないためにも、平常時からしっかりと準備しておくことが大切です。いざという時、しっかりと行動できるよう、日ごろから防災・減災意識を高めましょう。

地域が協力して

災害発生時には公助として、市や消防などによる救助活動が行われますが、災害の規模が大きいほど、すべての被災地域に支援が届くまでには時間が必要です。そのような時、重要なのが共助です。地域の実情を良く知っている皆さんが協力して初期対応に取り組むことが地域の減災につながります。

災害時、被害を受けやすいのは、高齢者や障がい者、乳幼児や妊婦など、自分で避難することが難しい要支援者と配慮が必要な方です。町会（自治会）の役員や民生委員の皆さん、地域に住む皆さんが協力して、事前に避難の方法や支援の方法を決めておくことで、スムーズに命を守る行動を取ることができ

◆避難行動要支援者制度◆

この制度は、一人暮らしの高齢者や障がいのある方などのうち、避難の支援が必要な方（避難行動要支援者）について、本人の同意に基づき、平常時から名簿情報を町会（自治会）や民生委員などの避難支援等関係者に提供し、日ごろから情報を共有することで、情報伝達や安否確認など、災害時に避難を支援するものです。

この制度を充実させるためには、支援が必要な方からより多くの同意を得て、地域の支援等関係者に名簿情報を提供することが必要です。避難に不安を抱えている方は名簿情報の提供にぜひ同意していただくようお願いいたします。提出する書類等は、市防災対策室へご連絡ください。提出・問合せ先 市防災対策室



最新の正しい情報を

北海道付近に前線が停滞しているときや台風（熱帯低気圧）が近づいているとき、地上と上空の温度差が大きく大気の状態が不安定なときは大雨が発生しやすくなります。

その大雨への備えの第一歩は、最新の気象情報の入手です。ラジオ（緊急告知FMラジオ）やテレビ（データ放送）などの気象情報に注意して、早めの行動を心がけましょう。



テレビリモコンのdボタン

持出し品と備蓄品

自宅や自宅周辺が危険な場合は、安全な場所に避難しなければなりません。そのような時、非常持出し品として、すぐに必要になるもの、なければ困るものなどを分類して、リュックに詰めるなどしておく素早い避難につながります。

家庭での備蓄品は、防災のために特別なものを用意する必要はありません。缶詰や乾パン、飲料水などを少し多めに購入しておき、日常生活の中で消費したときに買い足すことで備蓄となります。

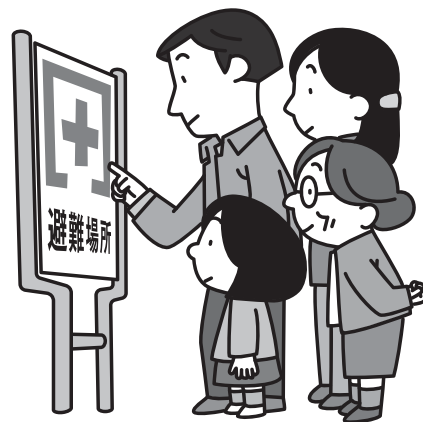


緊急告知 FM ラジオ

市は、災害時などの緊急時に備え、緊急告知 FM ラジオを販売しています。『いざ』という時に備え、一家に一台、会社で一台、ぜひラジオをご購入ください！

販売価格 市民・町会（自治会）：2,000 円
事業所など：4,000 円

販売・問合せ先 市防災対策室、北村・栗沢支所総務課、(株)コミュニティエフエムはまなす（有明町南1）
☎ 25 局 8074



災害はいつやってくるか予測できず、地域によって起こる災害の形は様々です。最も危険なのは自分の住んでいるところは大丈夫という思い込みです。平常時から自分が住んでいる地域がどんなところか、昼と夜とでの注意する場所の違い、避難所や避難経路、危険箇所などを確認しておくことで、安全に素早い対応が可能となります。

いざという時、自分の命は自分で守るといふ自助を基本に、地域のつながり、交流を大切にして、災害に備えましょう。

問合せ先 市防災対策室